



2023年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

2022年11月10日

上場会社名 関西ペイント株式会社 上場取引所 東
コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 高原 茂季 TEL 06-6203-5531
経営推進部門長
四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	250,700	23.3	15,762	△6.4	21,041	1.3	12,371	7.7
2022年3月期第2四半期	203,301	25.1	16,833	82.3	20,781	108.9	11,487	168.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 38,971百万円 (46.2%) 2022年3月期第2四半期 26,665百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	49.81	48.21
2022年3月期第2四半期	44.70	41.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	644,117	358,467	46.2
2022年3月期	600,057	375,114	53.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 297,328百万円 2022年3月期 320,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	19.3	32,000	6.3	39,000	3.7	23,000	△13.3	95.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :無
- ④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	272,623,270株	2022年3月期	272,623,270株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	40,033,215株	2022年3月期	15,729,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	248,362,592株	2022年3月期2Q	256,998,458株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は総じて緩やかに回復基調にあります。地政学リスクの顕在化を背景とした供給制約及び原材料価格の高騰に加えて世界的なインフレの影響もあり不確実性が大きい状況が継続しております。そのような状況下、中国においては、感染症拡大を受けたロックダウンなどにより景気は減速しました。欧州及び米国においては金融引き締めが景気を下押しするものの緩やかな持ち直しが継続しております。その他の地域においては、景気は回復基調もしくは持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、資源価格上昇の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとの、持ち直しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は2,507億0百万円（前年同期比23.3%増）となりました。営業利益は、原材料価格高騰の影響が継続し、売上増に伴い販売費用が増加する中で、販売価格への価格転嫁などの利益改善に取り組んだものの、157億62百万円（前年同期比6.4%減）となりました。経常利益は持分法投資利益の減少及びトルコにおける超インフレ会計適用の影響を受けた一方で、円安の影響による為替差益の増加などにより、210億41百万円（前年同期比1.3%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益の計上などにより123億71百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は前年を上回りました。工業分野においては市況が低調に推移した一方で、販売価格の改善に取り組んだことなどから売上は前年を上回りました。建築分野、自動車分野（補修用）及び防食分野では、市況の本格的な回復には至らなかったものの、販売価格の改善に取り組み売上は前年を上回りました。船舶分野では、市況は回復し売上は前年を上回りました。利益は原材料価格高騰の影響を受けた一方で、為替差益の発生などにより前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は735億37百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益は88億59百万円（前年同期比33.6%増）となりました。

《インド》

自動車分野では自動車生産台数が前年を上回ったことに加え、建築分野と共に前年が感染症拡大を抑止するためのロックダウンの影響を受けていたこと及び販売価格の改善に取り組んだことなどから、売上、利益ともに前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は681億56百万円（前年同期比49.8%増）、経常利益は62億68百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車分野及び工業分野を中心に販売価格の改善に取り組み、売上は前年を上回りました。その他欧州各国においても、工業分野及び建築分野を中心に堅調な需要に支えられ売上は前年を上回り、欧州全体の売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格やエネルギーコストの高騰及びトルコにおける超インフレ会計適用の影響などにより、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は544億67百万円（前年同期比31.6%増）、経常利益は12億86百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産台数が前年を下回り、自動車分野での売上は前年を下回りました。工業分野では産業機械向け塗料において、主要顧客の需要が減少し、売上は前年を下回りました。これらの結果、中国全体での売上は前年を下回りました。インドネシア、タイ及びマレーシアにおいては、自動車生産台数の回復を受け、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格高騰による影響及び持分法投資利益の減少などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は321億68百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益は32億63百万円（前年同期比30.7%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済は回復が遅れており需要が低迷する中、販売価格改善の取り組みにより南アフリカ地域の売上は伸長しました。東アフリカ地域では、建築分野において堅調な需要を取り込み売上は伸長し、アフリカ全体の売上は前年を上回りました。過年度より継続している不採算事業の整理による固定費削減に加え、感染症関連保険金の受領もあり、利益は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は190億98百万円（前年同期比18.9%増）、経常利益は8億83百万円（前年同期比71.8%増）となりました。

《その他》

北米では、自動車生産台数は前年を上回り、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格の高騰による影響及び持分法投資利益の減少などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は32億71百万円（前年同期比16.5%増）、経常利益は4億80百万円（前年同期比52.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の状況)

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、3,084億28百万円（前連結会計年度末比317億78百万円増）となりました。流動資産の増加は、主に受取手形、売掛金及び契約資産などが増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,356億88百万円（前連結会計年度末比122億81百万円増）となりました。固定資産の増加は、主に有形固定資産などが増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、2,351億72百万円（前連結会計年度末比620億88百万円増）となりました。流動負債の増加は、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などが減少したものの、短期借入金などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、504億77百万円（前連結会計年度末比13億81百万円減）となりました。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,584億67百万円（前連結会計年度末比166億47百万円減）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ90億6百万円減少し507億2百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比66億93百万円収入が増加し、114億44百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益236億65百万円、減価償却費76億56百万円、仕入債務の増加額113億76百万円などの収入、売上債権の増加額142億78百万円、棚卸資産の増加額110億56百万円、法人税等の支払額24億73百万円などの支出によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、23億86百万円（前年同期は8億60百万円の支出）の収入となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入額39億83百万円などの収入によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比247億68百万円支出が減少し、268億32百万円の支出となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の償還による支出額600億円、自己株式の取得による支出額500億3百万円、社債の償還による支出額100億円などの支出、社債の発行による収入額549億99百万円、短期借入金の増加額479億52百万円などの収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、本日（2022年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,677	54,716
受取手形、売掛金及び契約資産	110,085	131,405
有価証券	3,414	2,282
商品及び製品	46,317	55,608
仕掛品	7,318	8,795
原材料及び貯蔵品	35,583	46,531
その他	12,960	13,803
貸倒引当金	△3,706	△4,715
流動資産合計	276,650	308,428
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,484	66,203
その他（純額）	71,949	80,493
有形固定資産合計	133,434	146,697
無形固定資産		
のれん	27,573	28,738
その他	21,374	23,331
無形固定資産合計	48,948	52,070
投資その他の資産		
投資有価証券	94,192	85,841
その他	51,468	56,051
貸倒引当金	△4,636	△4,971
投資その他の資産合計	141,024	136,921
固定資産合計	323,407	335,688
資産合計	600,057	644,117

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,896	87,563
短期借入金	7,646	56,400
短期社債	-	44,999
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	60,010	-
未払法人税等	2,451	6,156
賞与引当金	4,601	4,744
その他	25,476	35,307
流動負債合計	173,083	235,172
固定負債		
退職給付に係る負債	7,486	8,169
その他	44,372	42,307
固定負債合計	51,859	50,477
負債合計	224,942	285,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	21,277	21,527
利益剰余金	279,551	288,958
自己株式	△26,187	△76,329
株主資本合計	300,299	259,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,070	31,778
繰延ヘッジ損益	△1,790	△596
為替換算調整勘定	△23,071	2,168
退職給付に係る調整累計額	4,512	4,164
その他の包括利益累計額合計	19,719	37,514
非支配株主持分	55,095	61,138
純資産合計	375,114	358,467
負債純資産合計	600,057	644,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	203,301	250,700
売上原価	140,005	183,812
売上総利益	63,296	66,887
販売費及び一般管理費	46,462	51,124
営業利益	16,833	15,762
営業外収益		
受取利息	220	212
受取配当金	809	923
持分法による投資利益	3,107	1,831
為替差益	332	3,074
雑収入	807	880
営業外収益合計	5,278	6,922
営業外費用		
支払利息	717	568
棚卸資産廃棄損	250	198
雑支出	361	877
営業外費用合計	1,330	1,644
経常利益	20,781	21,041
特別利益		
固定資産売却益	41	285
投資有価証券売却益	668	2,401
関係会社株式売却益	24	-
子会社清算益	13	-
受取保険金	809	-
特別利益合計	1,558	2,686
特別損失		
固定資産除売却損	61	47
投資有価証券売却損	-	2
早期割増退職金	17	12
特別損失合計	79	62
税金等調整前四半期純利益	22,260	23,665
法人税等	7,319	9,050
四半期純利益	14,941	14,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,453	2,243
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,487	12,371

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	14,941	14,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,542	△6,718
繰延ヘッジ損益	1,578	1,196
為替換算調整勘定	4,319	24,119
退職給付に係る調整額	△146	△348
持分法適用会社に対する持分相当額	2,429	6,108
その他の包括利益合計	11,723	24,356
四半期包括利益	26,665	38,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,323	30,165
非支配株主に係る四半期包括利益	4,341	8,806

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,260	23,665
減価償却費	7,021	7,656
のれん償却額	1,862	1,911
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	320	805
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△639	△636
受取利息及び受取配当金	△1,030	△1,136
支払利息及び社債利息	717	568
持分法による投資損益 (△は益)	△3,107	△1,831
投資有価証券売却損益 (△は益)	△668	△2,398
関係会社株式売却損益 (△は益)	△24	-
固定資産除売却損益 (△は益)	19	△237
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,489	△14,278
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,755	△11,056
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,823	11,376
その他	△4,981	△3,756
小計	12,330	10,652
利息及び配当金の受取額	3,948	3,865
利息の支払額	△736	△599
法人税等の支払額	△10,792	△2,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,750	11,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,759	△1,999
定期預金の払戻による収入	1,872	3,521
有価証券の純増減額 (△は増加)	3,510	1,473
有形固定資産の取得による支出	△5,304	△3,724
有形固定資産の売却による収入	63	378
無形固定資産の取得による支出	△646	△923
投資有価証券の取得による支出	△23	△27
投資有価証券の売却による収入	1,153	3,983
貸付けによる支出	△24	△75
貸付金の回収による収入	143	40
その他	154	△260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△860	2,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,577	47,952
長期借入れによる収入	5	486
長期借入金の返済による支出	△46,640	△1,580
社債の発行による収入	-	54,999
社債の償還による支出	-	△10,000
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	-	△60,000
自己株式の取得による支出	△5	△50,003
配当金の支払額	△3,873	△3,873
非支配株主への配当金の支払額	△3,288	△2,598
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△1,661
その他	△374	△554
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,600	△26,832
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,156	3,994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△45,553	△9,006
現金及び現金同等物の期首残高	108,377	59,709
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,823	50,702

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式24,218,700株の取得を行いました。これを含む自己株式取得等の結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が50,141百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が76,329百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	68,641	45,488	41,396	28,902	16,064	200,494	2,807	203,301	-	203,301
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	5,928	32	99	1,268	125	7,454	-	7,454	△7,454	-
計	74,570	45,521	41,496	30,170	16,189	207,948	2,807	210,755	△7,454	203,301
セグメント利益	6,631	3,948	3,964	4,711	514	19,770	1,010	20,781	-	20,781

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	73,537	68,156	54,467	32,168	19,098	247,428	3,271	250,700	-	250,700
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	7,403	16	109	1,796	84	9,410	-	9,410	△9,410	-
計	80,941	68,173	54,576	33,964	19,183	256,838	3,271	260,110	△9,410	250,700
セグメント利益	8,859	6,268	1,286	3,263	883	20,561	480	21,041	-	21,041

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等